



市民クラブ
窪之内美知代
議員

金婚祝賀会の復活について

質問 昨年度から廃止された金婚祝賀会に要していた経費及び復活を検討する考えについて伺う。

答弁 事業経費は約40万円で、出席者一人1、500円の負担と市から4万3、000円を補助し、差額は社会福祉協議会が負担していましたが、対象者を限定した祝賀会であり、経費に占める飲食の割合など種々検討し補助を見直しました。社会福祉協議会としても、福祉事業のあり方や経費を検討する中で事業を廃止したもので、再開は難しいと考えています。

国道12号14丁目から16丁目までの交通安全について

質問 近年この区間は、自動車 jalurにはみ出すなどの事故が増えている。原因調査と安全対策について伺う。

答弁 この5年間に5件の人身事故が発生し、うち2件が死亡事故

でした。今年の死亡事故発生の日、事故現場で緊急現場点検を実施し、原因調査と今後の対策を協議した結果、道路に問題はないとの評価で、町内会班回覧により事故の発生と対策の協議経過を周知し、現場付近に交通安全旗を設置して運転者への啓発を行いました。

滝川市小・中学校適正配置計画の見直しについて

質問 計画5年目の見直しに向けたスケジュールと保護者をはじめ市民意見反映の機会について伺う。

答弁 小学校全体で12学級から18学級規模、中学校全体で6学級から18学級規模という適正規模に変更を加えるものではありません。今年度、児童生徒数の推計、学校施設や通学区域の現状について調査分析し、10月頃に6つの小学校区と東滝川地区、市内幼稚園を含めた保護者懇談会を行い、見直し案作成のための意見を伺う予定です。平成27年度は小学校区での保護者説明会、地域との懇談会、パブリックコメントなどを実施し、平成28年2月には10年後を見据えた見直し計画を策定する考えです。



市民クラブ
荒木 文一
議員

國學院大學北海道短期大学部への支援金の効果について

質問 昨年の第4回定例会で議決された、同大学の学生確保のための寄付金2、000万円に関連し、今年度の学生数と寄付金の効果を学内でどのように分析されていると聞いているか伺う。

答弁 平成26年度の入学者が185人となり、前年度166人に対し19人増となりました。

寄付金の効果については、高校訪問や発送物の送付先の拡充、特別指定校制度の導入などに活用されて入学者数の増加に繋がっており、入学者200人確保の基盤づくりに貢献したものと総括されています。

経営努力について

質問 補正予算議決時に説明された大学の歳出削減努力、例えば人件費削減等について、その後大学側から説明を受けているか伺う。

答弁 大学側の経営努力について

は、ここ数年にわたり退職職員の不補充や人件費の縮減を図り、大幅な節減による経営努力を重ねていると聞いています。

地域連携協議会について

質問 大学、滝川市、商工会議所の3者で構成される「地域連携協議会」について、開催経過、主な協議内容、議事録の有無と公開の可能性について伺う。

答弁 年2回の開催を基本とした取り決めに基き、5月16日に第1回協議会が開催され、平成26年度の入学者状況等の報告があり、また、議事録は作成していますが、公開することは想定していません。

商業複合施設と大学の契約について

質問 アクロスプラザ等の商業施設と大学の賃貸借契約の内容について伺う。

答弁 大学と民間事業者との契約の内容等については承知していませんが、ホームページで公表されている短期大学の決算書の資産運用収入5、900万円に賃貸料が含まれていると思われます。